

大洗町第6次総合計画に基づく令和4年度事業評価 評価一覧

政策3  
観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり

(R5.9月末時点)

施策No.	施策名	個別施策	重点	具体的な取組み	評価	担当課	(参考) R3d
3-1	観光の振興	3-1-1	○	海の多様な利活用の推進	B	商工観光課、まちづくり推進課	B
		3-1-2	○	産学官民連携による共創の観光地づくりの推進	B	商工観光課、まちづくり推進課	B
		3-1-3	○	地域資源を生かした「食」開発の推進	B	商工観光課	B
		3-1-4		SNSの特性を活かした情報発信	B	秘書広報課、商工観光課	B
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	3-2-1	○	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	B	都市建設課	B
		3-2-2		活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	B	都市建設課	B
		3-2-3		魅力あるみなとまちづくりの推進	B	まちづくり推進課	B
		3-2-4	○	公共交通の充実	C	まちづくり推進課	B
3-3	水産業の振興	3-3-1	○	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	B	農林水産課	B
		3-3-2	○	水産物の販売促進・販路拡大	B	農林水産課	B
		3-3-3		経営基盤の強化及び団体の育成	B	農林水産課	B
3-4	農業の振興	3-4-1	○	農業生産基盤の充実	B	農林水産課	B
		3-4-2		担い手の育成	B	農林水産課	B
		3-4-3	○	地域資源の活用	C	農林水産課	C
3-5	商工業の振興	3-5-1	○	商店街の特性を活かした賑わい整備	B	商工観光課	C
		3-5-2		創業支援と人材育成の推進	B	商工観光課	B

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名
3-1	観光の振興

担当課
商工観光課、まちづくり推進課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	観光入込客数	430万人	440万人	401万人	450万人
KGI	-	観光消費額(宿泊)	25,000円/人 (令和元年度)	26,250円/人	30,467円/人	27,500円/人
KPI	3-1-1	海を活用した新たなイベントの開催	新規設定	3件	2件	3件
KPI	3-1-1	釣り場環境の整備	未整備	1か所	0か所	1か所
KPI	3-1-2	道の駅おおあらい(仮)の整備	未整備	1か所	0か所	1か所
KPI	3-1-2	サイクルサポートステーションの拡充	2施設	8施設	8施設	8施設
KPI	3-1-3	地域資源を活用した新たなグルメ開発	新規設定	4品	4品	4品

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
3-1-1-1	海の多角的利活用の推進	商工観光課、まちづくり推進課	B
取組内容や今後の方針	<p>大洗海上花火大会に併せた音楽ライブの実施や(一社)大洗観光協会主催による「NIGHT WAVE」の開催、民間団体によるイベント活用など、目標の達成に向けて取り組みを進めている。</p> <p>釣り場環境の整備に向け、大洗港区において日本釣振興会による釣り場の可能性調査が行われた。調査により、大洗港区での釣りに関する安全性や釣果などの基礎データが収集できたことから、今後、港湾関係者である県や町漁業協同組合などと協議し、引き続き釣り場開放に向けた調整を進める。</p> <p>また、県と連携し、外国人が参加可能な国内初のカジキ釣り大会「大洗インターナショナルフィッシングフェスティバル」を初開催した。今後も、海の多目的利活用に繋がるマリンレジャーの振興に努める。</p>		
3-1-1-2	産学官民連携による共創の観光地づくり	商工観光課、まちづくり推進課	B
取組内容や今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して地元で泊まろう宿泊モニター事業を実施した。(宿泊者数延べ2,581人、総宿泊額41,741千円)</p> <p>大洗キャンプ場、サンビーチキャンプ場の指定管理者により、利用者の利便性向上の取り組みが行われている。</p> <p>サイクルサポートステーションの登録目標を達成したものの、サイクリストにやさしいまちづくりを推進し、更なる登録を目指す。</p> <p>道の駅おおあらい(仮)の整備については、物価高騰・エネルギー価格高騰等の影響により、計画が凍結となった。今後は、社会経済状況や町の財政状況等を踏まえ、判断していく。</p> <p>サイクルツーリズムの推進の一つとして、JR千葉支社の運営するB.B.BASEと連携し、鹿島神宮駅から大洗駅までの区間で、大洗鹿島線サイクルトレインを実施した。</p>		
3-1-1-3	地域資源を活かした「食」開発の推進	商工観光課	B
取組内容や今後の方針	<p>ひたちなか大洗リゾート構想事業において、4品目のグルメを開発。</p> <p>開発グルメの普及促進に取り組むとともに、更なる地域グルメの開発に向けて、地域事業者との連携を図る。</p>		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)		評価
3-1-4	SNS の特性を活かした情報発信 商工観光課、秘書広報課	B
取組内容や今後の方針	<p>地域外への情報発信は、観光協会やうみまちテラスと連携して各々の SNS にて発信している。</p> <p>地域内については、町公式 LINE を有効活用し、イベントなどの情報発信に努める。Twitter を活用して、イベント・行事情報、広報紙発行について発信しており、詳細な情報については、町ホームページへ誘導している。</p> <p>また、町公式 LINE の運用を開始し、住民・観光客に対してより直接的に的確な情報を発信している。</p>	

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-1-1	<p>委員：釣り場開放について、西伊豆で取組んでいるアプリを使った予約サービスを参考にしては。担当：現在、釣り禁止エリアにも関わらず、多くの釣り人が釣りを行っており、漁業関係者の方々にも迷惑がかかっていることから、日釣振や県とも連携して適切な釣り場や運営方法などについて協議を進めている。</p>
3-1-2	<p>委員：最近、「常陸乃国いせ海老」の報道がなされているが、大洗では採れないのか。また、活用はできないのか。</p> <p>担当：いせ海老の漁場は限られていて安定して採ることができない。令和4年度のいせ海老の水揚げ高は13,000千円(2,338Kg)程度であり、大洗町の漁業者は、ハマグリとシラス漁をメインとしている。グルメについても、ぜひ、ハマグリとシラスを推していきたい。</p> <p>委員：地域グルメ開発として、いせ海老料理のブランド化を図ってはどうか。</p> <p>担当：飲食店や宿泊施設から、いせ海老料理のブランド化を図るための機運が盛り上がることを期待している。そのような声があれば、しっかりと支援していく。</p>

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	都市建設課、まちづくり推進課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	地域ブランド調査の魅力度ランキングにおける魅力度の点数	7.6 ポイント (令和元年)	8.1 ポイント (令和3年)	11.7 ポイント (令和3年)	8.6 ポイント
KPI	3-2-1	都市計画道路の整備延長	19.3km	19.9km	19.9km	20.2km
KPI	3-2-4	大洗鹿島線大洗駅利用者数	784,750 人/年	784,750 人/年	662,006 人/年	784,750 人/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
3-2-1	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	都市建設課	B
取組内容や今後の方針	まちづくりの骨格となる都市計画道路関根祝町線及び吉沼磯浜線について、早期開通を目指し、計画的に整備を進めている。 また、ひたちなか大洗リゾート構想推進協議会において、ひたちなか市～大洗町にかけて交通渋滞に関する調査を行った。今後、この調査結果に基づき、実証実験を行い、効果的な渋滞対策を図っていく。		
3-2-2	活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	都市建設課	B
取組内容や今後の方針	貴重な水資源を活かした親水性の高い水辺空間の創出に向け、水辺プラザの整備に関して、河川管理者である国との意見交換等を行った。 今後は、国と連携しアクティビティやバリアフリーに対応した「誰もが利用しやすい空間」の整備に向け取り組む。		
3-2-3	魅力あるみなとまちづくりの推進	まちづくり推進課	B
取組内容や今後の方針	令和4年度において、県有施設である大洗マリーナについて民間企業(株)ユニマツプレシャスへの売買が決定したことから、今後は当該企業や県と連携し、民間活力による港湾地区の賑わい創出を図る。 また、コロナ禍において中止されていたクルーズ船の寄港が再開し、令和4年度は過去最多となる6回の寄港が実現したほか、海の月間イベントにおいてはフェリーの船内見学を実施し、広く町内外の方々へ海上交通としてのフェリーの魅力と重要性のPRを行うなどし、魅力あるみなとまちづくりの推進を図った。		
3-2-4	公共交通の充実	まちづくり推進課	C
取組内容や今後の方針	既存公共交通の利用促進を図るとともに、令和4年度は、大洗町地域公共交通に関する基礎調査を実施し、町の公共交通の現状把握や課題の抽出等を行った。たま、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、町循環バス「海遊号」「なっちゃん号」に、パソコンやスマートフォンからバスの位置情報等の状況を確認できる、バスロケーションシステムを設置し、循環バス利用者の利便性向上と利用促進に努めたほか、同交付金を活用し、原油価格高騰の影響を受けた町内公共交通事業者に対し、安定的な運行継続を支援するため、支援金を交付した。 今後は、令和5年度に大洗町公共交通計画を策定し、今後の町の公共交通の在り方について協議を進め、大洗町にマッチした公共交通の導入について検討を図っていく。		

(次のページへ続く)

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-2-1	<p>委員：吉沼磯浜線について、町外にも関係してくる路線と思うが、進捗はどうなっているのか。</p> <p>担当：毎年、県への要望活動を行っている。ただ、水戸市との間に橋を架けることとなるため、費用的にも多額の負担が想定されており、具体的な進捗はないのが現状。</p> <p>委員：ひたちなかリゾート構想での渋滞対策にも繋がるものと思う。大規模な事業ではあるが、ぜひ頑張してほしい。今年度は、渋滞対策の実証実験として、県が主導でお盆時期に迂回路を案内する看板の設置などを行うが、町としてGWやお盆時期の渋滞対策は実施しているか。</p> <p>担当：過去には、県や茨城町と連携し、水戸南インターへの迂回路案内を行っていたが、現在は実施していない。</p> <p>(審議会後確認)生活環境課にて、渋滞対策としてGWに海門橋付近へ渋滞告知看板を設置</p>
3-2-2	<p>委員：水辺プラザとは具体的にどこか。また、駐車場などはあるのか</p> <p>担当：那珂川河口部の大洗町側であり、海門橋の上流部分から下流部分のエリアをいう。駐車場は2か所ある。</p>
3-2-3	<p>委員：規制緩和とあるが、具体的にどういった規制があったのか。</p> <p>担当：(審議会後、文書で報告)茨城県港湾計画において、用地の利用方法が定められている。県との協議を進めた結果、大洗マリーナ周辺の緑地の一部について、マリーナ用地として利用できるようになり、規制緩和に繋がった。</p>
3-2-4	<p>委員：KPI「大洗鹿島線利用者数」が目標未達のため、C評価が妥当と考える。</p> <p>委員：大洗鹿島線の利用促進について、戦略等はあるか。</p> <p>担当：県及び沿線自治体で「大洗鹿島線を育てる沿線市町会議」を組織し、利用促進に取り組んでいるが、沿線人口が減少していることから、定期利用者数等も減少している。観光客を見込んだ新たな顧客獲得に向けて、サイクルトレインなどの取組を実施し、利用促進に努めている。</p> <p>委員：循環バスの利用状況は。</p> <p>担当：海遊号については、平日は主に高齢者が、休日は主に観光客が利用しており、なっちゃん号については、南小中の児童生徒のスクールバスの役割を担っている。</p> <p>委員：運行は町が直接行っているのか。</p> <p>担当：茨城交通が運行しているが、コミュニティバスであることから、町から費用補助を行っている。</p> <p>委員：去年の補助実績は。</p> <p>担当：運賃収入から運行経費を差し引いた赤字分の補てんを行っており、去年の実績額は1,538万円である。</p> <p>委員：コミュニティバスは高齢者の生活・移動に欠かせないものでもあるため、金額は大きいですが、できるだけ維持に努めてほしい。</p>

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-3	水産業の振興	農林水産課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚数量	1,481t	1,481t	1,222t	1,481t
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚高	509 百万円	509 百万円	790 百万円	509 百万円
KPI	3-3-1	アワビの種苗放流数	25,000 個/年	30,000 個/年	33,400 個/年	30,000 個/年
KPI	3-3-1	ハマグリ稚貝の移植放流数	3t/年	5t/年	4.6t/年	5t/年
KPI	3-3-2	販売促進・販路拡大協議会の開催	新規設定	2 回/年	7 回/年	2 回/年
KPI	3-3-2	水産業界主体イベントの支援	新規設定	12 回/年	12 回/年	12 回/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評 価
3-3-1	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	農林水産課	B
取組内容や 今後の方針	資源管理型漁業及び栽培漁業の取り組みとして、ハマグリ稚貝 4.6tを採捕し移植放流を大洗町漁業協同組合が実施した。また、茨城県栽培漁業協会から同組合がアワビの種苗 33,400 個を購入し種苗放流を実施した。なお、令和4年度の水揚高は、ハマグリは約 140 百万円、アワビが約 25 百万円だった。 引き続き、水産資源の維持・増大を図るとともに漁場環境の保全を促進するため、関係機関と連携し、種苗・移植放流数の増加に努める。		
3-3-2	水産物の販売促進・販路拡大	農林水産課	B
取組内容や 今後の方針	地域ブランド化の推進による販路拡大に向けて、県や大洗町漁業協同組合等とシラスの品質向上に関する取り組みについて協議を行った。 今後も、更なる販売促進・販路拡大に向けて、様々な課題を整理し、関係機関との連携を進めていく。		
3-3-3	経営基盤の強化及び団体の育成	農林水産課	B
取組内容や 今後の方針	町内の漁業・水産業事業者に対し、経営基盤の強化を図るための経営支援や制度資金に対する利子補給を実施したほか、令和4年度新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー価格高騰の影響を受けた漁業・水産事業者への支援を実施した。 浜の活力再生プランに基づいて実施する「漁船保全修理施設整備事業」(事業主体:大洗町漁業協同組合)の支援を実施しており、完成に向けて引き続き取り組んで行く。		

(次のページへ続く)

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-3-1	<p>委員:ハマグリ稚貝の管理状況は。</p> <p>担当:大洗サンビーチにおける自然発生の稚貝を、GW前に沖に移設している。また、海区調整委員会の指示に基づき、ハマグリを採れる場所の制限や、取締り等を実施している。</p>
3-3-2	<p>委員:令和4年度に7回実施している、販売促進・販路拡大協議会とはどのような協議会なのか。</p> <p>担当:大洗産シラスのブランド化を目的に、県・町・漁業協同組合・加工組合で組織した協議会。品質改良したシラスをデパートなどで販売できるよう協議を進めている。</p> <p>委員:毎月実施している「とれたて市」の現状は。</p> <p>担当:令和4年度はコロナ禍ではあったが、11回開催し、延べ5,000人のお客様にご来場をいただき、売上も上々であった。最近では、町内飲食店とも連携して開催することで、リピーター獲得にも繋がっている。</p>
3-3-3	<p>委員:地方創生臨時交付金を活用した支援事業は、漁業者や水産加工業者にとって大変ありがたい事業であるが、燃料費は想像以上に高騰しており、もう少し支援を拡充してほしいという要望もあるがいかがか。</p> <p>担当:地方創生臨時交付金は、人口等を算定基準に国から配分されるもので、大洗町への配分額は決して多くないが、それらを原資に、水道基本料金の減免など町民への支援や、漁業者・農業者・医療機関など、事業者への支援を幅広く実施している。</p>

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-4	農業の振興	農林水産課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	農業産出額	195 千万円	195 千万円	198 千万円 (令和3年度)	195 千万円
KGI	-	担い手への農地利用集積面積	269ha	264ha	268ha	285ha
KPI	3-4-1	基盤整備工事实施地区	大貫地区	向谷原地区	向谷原地区	向谷原地区
KPI	3-4-3	地域間交流人数(松川地区交流施設の利用者数)	14,700 人/年	14,000 人/年	14,100 人/年	22,000 人/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評 価
3-4-1	農業生産基盤の充実	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	<p>向谷原地区については、向谷原地区評価換地及び工事委員会において、県と共に土地改良事業(換地及び工事)に向けて取り組んだ。</p> <p>また、夏海地区については、県及び大洗町農業委員会と共に、担い手や地元住民を対象に意見交換会を開催したほか、担い手メンバーを中心とした準備委員会を設立した。</p> <p>引き続き、県及び地権者等と協議し事業を進める。</p>		
3-4-2	担い手の育成	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	<p>向谷原地区基盤整備事業において、地権者に対して意向調査を実施し、売却希望農地に対して担い手農家(買い手)の選定を行い、農地集積に取り組んだ。</p> <p>また、農業経営・拡大を志向する意欲ある担い手農家(認定農業者)に対して、農業機械購入費などの一部を支援した。加えて、令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー価格高騰の影響を受けた農業者に対して、肥料及び燃料費購入費の一部を支援した。</p> <p>引き続き関係機関等と連携し、認定農業者の支援や新規就農者の育成について取り組んでいく。</p>		
3-4-3	地域資源の活用	農林水産課	C
取組内容や今後の方針	<p>松川交流拠点施設「夕日の郷松川」のキャンプ利用者は、増加(R3:1,437 人→R4:3,095 人)となった。</p> <p>引き続き、夕日の郷松川管理運営協議会(指定管理者)や地域の方々をはじめ、今後は民間企業とも連携を図りながら、地域資源の活用及び松川地区の活性化に努める。また、南側の埋立て地についても事業展開に向けて取り組む。</p>		

(次のページへ続く)



審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-4-2	委員:農業分野における現在の課題は何か。 担当:農業者の高齢化、後継者不足が課題である。そのような課題に対応するため、農地の集積や機械化を進めている。
3-4-3	委員:夕日の郷松川の利用状況は。 担当:週末を中心に多くのキャンプ利用客にお越しいただいている。今後、物価高騰等の理由により、使用料の値上げも検討しており、収益面での改善も見込まれる。

## 第6次大洗町総合計画 令和4年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-5	商工業の振興	商工観光課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	現状値(令和4年度)		目標値 (令和6年)
				目標値	実績値	
KGI	-	町内事業者数	587 事業者	587 事業者	585 事業者	587 事業者
KPI	3-5-1	商店街活性化会議の開催	新規設定	1回/年	1回/年	2回/年
KPI	3-5-1	地域通貨の電子化	新規設定	未実施	未実施	実施

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
3-5-1	商店街の特性を活かした賑わい整備	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用してプレミアム付き商品券発行事業を実施。(プレミアム率 30% 発行額面 148,200 千円)</p> <p>令和4年11月に商店街活性化会議を開催し、プレミアム付き商品券事業等の電子化について議論を開始。</p> <p>現在のポイントカード制度との調整を図りながら、地域通貨のデジタル化を推進していく。</p>		
3-5-2	創業支援と人材育成の推進	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	<p>創業支援については、空き店舗活用における補助事業を実施している一方で、創業間もなく閉店するケースも見られることから、経営安定に向けた支援への見直しを図る。</p>		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-5-1	<p>委員:プレミアム付き商品券は町外消費を食い止める意味でも有効である。商品券の電子化については、使う側(町民)だけでなく、使われる側(事業者)にも課題があるので、デジタル化を進めつつ紙ベースを一部残すなど、緩やかな移行をお願いしたい。</p> <p>担当:デジタル化の推進は大きなメリットがある一方、デジタルに慣れていない高齢者への対応や、詐欺被害への心配がある。プレミアム付き商品券のデジタル化の議論をきっかけに、町、商工会、商店街が連携して、デジタル化の必要性の有無をしっかりと議論していきたい。</p>